

Japanese
Wedding Ceremony
63-1201X

結婚式

シェリーブポート ルイジアナ州 アメリカ合衆国
1963年12月01日X



www.messagehub.info

ウィリアム・マリオン・ブラハム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7

はじめに

際立ったウィリアムブラナムのミニストリーは、マラキ4章4,5,6及びルカ書17:30と黙示録10:7と多くの聖書の預言に対する聖霊からの答えなのです。この世界規模のミニストリーはこの終わりの時に聖霊による神の御業の継続なのです。それは聖句の中にあり、イエスキリストの再臨のためにある人々を整えるために立ち上げるために必要とされていると書かれています。

あなたが祈り深くこのメッセージを読むとき、この印刷された御言葉があなたの心に刻まれるようにと祈ります。

メッセージの正しい転写、翻訳を提供できるように最善を尽くしておりますが、英語の録音がウィリアムブラナムによって語られた説教をもっともよく表しているものです。

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

そして、私たちがキリストと一つに結ばれる時、それはクリスチャンの人生における最も幸いな瞬間となるでしょう。

7 主があなたがたを祝福してくださいますように。

立ちましょう。

天の父よ、今朝、私たちの目は結婚式へと向けられました。

私たちは、あの栄光ある朝のことを思っています。イエスが来られる時、そこにはもう一つの結婚式があるのです。すべての時代を通して、小羊の血によって贖われた者たちが、主のいのち、すなわち永遠のいのちにもあずかる者となる時です。

そして私たちは、今、主が生きておられるその栄光のからだと同じようなからだを持つようになります。

私たちはその時を待ち望んでいます。

今朝、この部屋を去る時、その思いが、私たちの心と人生に新たに刻まれますように。いつの日か私たちがあずかる、あの大いなる結婚式(婚宴)のために、私たちが献げられた者でありますように。

イエスの御名によって祈ります。アーメン。

結婚式

1 この女性を、この男性の妻として与える方はどなたですか。

[花嫁の父が答える、「私たちです。」]

愛する皆様、私たちは今、神の御前に、そしてここに集う方々の前に集まっています。この男性とこの女性を、聖なる結婚において一つに結び合わせるためです。

この結婚は、聖パウロによって、すべての人の間で尊ばれるべきものと命じられているものです。

ですから、これは誰であっても、無思慮に、また軽々しく入るべきものではありません。むしろ、敬虔に、慎み深く、真面目に、そして神への畏れをもって入るべきものです。

2 この聖なる場所へと、この二人は今、結ばれるために来ています。

もしここに、この二人がこの聖なる結婚において、正当に結ばれるべきではないという、正当な理由を示すことのできる方がいるなら、今、申し出てください。そうでなければ、これより後、永遠に沈黙を守ってください。

私は、あなたがた二人に求め、また厳かに申し渡します。すべての心の秘密が明らかにされる裁きの日に、あなたがたは必ず答えなければならない者です。

もしあなたがたのどちらかが、この聖なる結婚において、正当に結ばれるべきではない何らかの妨げを知っているなら、今、それを告白しなさい。

なぜなら、確かに知っておくべきことですが、神の御言葉が許しておられない仕方で結ばれる二人の結婚は、正当なものではないからです。

3 けれども、あなたがたが、今まさに負おうとしているこの厳かな責任を十分に考え、また神への畏れのうちに、敬虔に、慎み深く、真面目に、この結婚へ入る備えができていると信じますので、私はあなたがたに結婚の誓約を問いかけます。

あなたがたは右手を取り合い、その誓約の証しとしてください。

あなたは、この女性を、正当に結ばれた妻として迎え、この聖なる結婚の

状態において共に生きることを願いますか。病める時も健やかなる時も、富める時も貧しい時も、彼女を愛し、敬い、慈しみ、支えることを約束しますか。そして、あなたがた二人が生きている限り、他のすべての者を捨て、彼女だけに添い続けますか。

[花婿が答える、「誓います。」]

あなたは、この男性を、正当に結ばれた夫として迎え、この聖なる結婚の状態において共に生きることを願いますか。病める時も健やかなる時も、富める時も貧しい時も、彼を愛し、敬い、慈しみ、支えることを約束しますか。そして、あなたがた二人が生きている限り、彼だけに添い続けますか。

[花嫁が答える、「誓います。」]

誓いのしるしをいただきます。

[二つの指輪が牧師の聖書の上に置かれ、それから花嫁のために花婿へ、次に花婿のために花嫁へ渡される。]

もう一度、右手を取り合い、誓約のために一歩前へお進みください。

頭を垂れて祈りましょう。

4 天の父よ、私たちは今、自分たちが行っているこの行為を意識し、また、あなたが地上で最初に結婚した夫婦を結び合わされたことを覚えています。あなたは、私たちの父と母であるアダムとエバを結び合わせ、彼らに、世に出て行き、実を結び、増え広がるようにと命じられました。

そして今日に至り、主よ、この若い男性と若い女性が、あなたの御言葉とあなたの約束の徳によって一つに結ばれるために、今ここに来ています。彼らは人生の旅路において、互いを生涯の伴侶として選びました。

全能の神よ、私は彼らの上にあなたの祝福を祈ります。

軽率に生きるこの時代にあって、男性と女性が、世の前にも神の御前にも、真実で清らかに生きることができるという模範に、彼らをしてください。

主よ、彼らを実り豊かな者としてください。彼らがいつもあなたに仕えることができますように。

彼らの家庭に、あなたがいつも、目には見えない客人としておられますよう

に。

そして、あなたがイサクとリベカを祝福され、彼らが生涯を通して幸せに共に暮らしたように、同じように、この若い男性とこの若い女性を祝福して下さるよう祈ります。

父よ、主よ、どうか私の祈りをお聞きください。

5 そして今、全能の神によって私に与えられ、御使いによって私に証しされた、神のしもべとしての任命の権威により、私はこの男性とこの女性を、イエスキリストの御名によって、夫婦であると宣言します。アーメン。

神があなたがたを祝福して下さいますように。あなたがたは結婚しました。

[二人は口づけをし、それから会衆の方を向く。ピアニストが「結婚行進曲」を弾き始める。]

神が結び合わせたものを、人が引き離してはなりません。

[花婿、花嫁、そして付き添いの者たちが退場する。]

6 結婚の甘美さよ。

一人の男性と一人の女性が、人生の旅路の上り坂も下り坂も共に向き合うために、一つに結び合わされました。

両家の父と母は、息子と娘を送り出さなければなりません。それは、あなたがたの父と母も、かつてそうしたことなのです。

神があなたがたを強めて下さるよう祈ります。そして、これも人生における務めの一部であることを悟ってください。あなたが妻を持ち、また夫を持つことがそうであったように、あなたがたの父と母も同じようにしたのです。

あのように二人が歩み出て、結ばれるために来るのを見るたびに、私はいつも、花嫁を迎えに来られるキリストの来臨の情景を思い描きます。

その日、私たち皆がその花嫁の一部であることを、私は信じ、望んでいます。主もまた来られるのです。

これは、この若い二人の人生における最も幸いな瞬間です。